

各 位

会 社 名 佐 渡 汽 船 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 川 健
 (J A S D A Q ・ コード 9 1 7 6)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取 締 役 総 務 部 長 尾 崎 弘 明
 電 話 0 2 5 - 2 4 5 - 2 3 1 1

平成 26 年 12 月期通期の業績予想値と実績値との差異及び

特別損失の発生に関するお知らせ

平成 26 年 11 月 7 日の「特別損失（減損損失）の発生及び平成 26 年 12 月期通期の業績予想（連結）の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、平成 26 年 12 月期通期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,078	百万円 △13	百万円 △90	百万円 △265	円 銭 △18.78
今期実績 (B)	11,997	45	△49	△287	△20.35
増減額 (B-A)	△81	58	41	△22	
増減率 (%)	△0.7	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 12 月期)	12,217	136	95	23	1.66

2. 理由

平成 26 年 12 月期の売上高につきましては、消費税増税による消費マインドの落ち込みの長期化、12 月の荒天による欠航便の増加などにより、前回見込んでいた輸送量を下回ったことから、輸送量の増減が大きく影響する子会社も含めて減少しました。

営業利益、経常利益につきましては、売上高に連動する費用が減少した他、原油価格の下落が予想以上に進み船舶燃料費が減少したため、前回予想より改善しました。

当期利益につきましては、繰延税金資産を計上したことで税金費用が減少したものの、一方で減損損失を特別損失に計上したため、前回予想を下回りました。

3. 特別損失の発生

①個別決算

下記②の理由により、当社が保有する子会社株式について実質価額が著しく下落することから、平成 26 年 12 月期の個別決算に係る会社株式評価損 124,675 千円を特別損失として計上いたします。

②連結決算

当社及び一部の連結子会社において、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき、保有する固定資産及びのれんの減損処理を行いました。この結果、平成 26 年 12 月期の連結決算に減損損失 91,252 千円を特別損失として計上いたします。

なお、関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

以 上